第８章　参考資料

1　懇話会委員一覧

所属	役職	氏名	備考
龍谷大学　農学部	教授	末原　達郎	座長
株式会社フラン	代表取締役	竹川　智子	6次産業化プランナー（マーケティング）
レーク大津農業協同組合 営農経済部	部長	柴原　孝光	副座長
大津市農業委員会		山川　君江	
大津市農政審議会	会長	寺元　義則	
農事組合法人　新免営農組合	代表理事	西村　敏男	
認定新規就農者		西本　忠則	
大津地域青年農業者クラブ 季楽里	会長	森田　浩之	
滋賀県 大津・南部農業農村振興事務所	次長	古谷　博幸	

2　ビジョン策定までの検討過程

年	月	取り組み
2015年	—	大津市農業振興ビジョン策定に係る基礎調査業務の実施
2016年	7月	第1回懇話会の開催
	9月	第2回懇話会の開催、常任委員会への報告
	11月	第3回懇話会の開催
	12月	常任委員会への報告
2017年	1月	ビジョン案に対するパブリックコメントの実施
	2月	第4回懇話会の開催、大津市農政審議会への報告
	3月	市議会への報告、パブリックコメントの結果公表
	4月	本ビジョンの施行

3 用語解説

あ行

■インバウンド

国外から入ってくる旅行の意味で、一般的には訪日外国人旅行を指します。一方、国外に出る海外旅行は「アウトバウンド」と呼びます。

■おおつ近江米カレー

①「近江米」を使用し、②地産の食材や郷土料理を使用して二度異なる味を楽しめるという2つの要素を満たしたカレーのことです。大津市の新名物として定着に取り組んでいます。

■大津市人口ビジョン

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の趣旨に基づいて、大津市における人口の現状分析とその将来展望を示しています。2015年にまとめられました。

■大津市水田フル活用ビジョン

「経営所得安定対策等実施要綱」で定められる計画で、大津市内の水田における、米を含む麦や大豆、野菜など作物ごとの取り組み方針や作付け予定面積をまとめています。

■大津市総合計画

大津市における今後12年間のまちづくりに向けて、その政策方針および重点事業をまとめた計画です。

■大津市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想

「農業経営基盤強化促進法」に基づいて定められるもので、大津市における農業振興の目標等についてその指針がまとめられています。

■大津市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画

「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づいて策定されるもので、農業の多面的機能を発揮するために取り組むべき事業を地域別にまとめています。

■温暖湿潤気候

年間の気温差が大きく、夏は多雨で冬は乾燥する、温帯気候の一つです。

か行

■家族経営協定

家族による農業経営において、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

■環境保全型農業

地域で従来から行われている方法に比べて農薬や化学肥料の使用量を減らしたり、堆肥による土づくりを行うなど、環境に配慮した農業を指します。

■観光農園

有料で観光客が農産物の収穫を体験できる、あるいは田んぼや畑を鑑賞することができる農園のことを指します。農園は農家が運営しています。

■兼業農家

同じ世帯に農業以外の仕事をする人が1人以上いる農家を意味します。なお、農業による所得が農業以外の仕事による所得よりも多い農家を第1種兼業農家、農業以外の仕事による所得が農業による所得よりも多い農家を第2種兼業農家と呼びます。

■耕作放棄地

農林業センサスにおいて定義されている統計用語で「以前耕地であったもので、過去1年以上作付けせず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地」を意味します。

さ行

■自給的農家

農林業センサスにおいて定義されている統計用語で「経営耕地面積30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家」を意味します。

■市民農園

都市住民の方々がレクリエーションとしての自家用野菜・花の栽培、高齢者の生きがいづくり、生徒・児童の体験学習などの多様な目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園のことをいいます。市農林水産課では「大津市ファミリー農園」を管理しています。

■集落営農
集落を単位として、生産工程のすべてあるいは一部について共同で取り組む組織を指します。

■食育
様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てることです。

■専業農家
同じ世帯に農業以外の仕事をしている人がいない農家を意味します。

た行

■棚田
傾斜地に等高線に沿って作られた水田のことです。田面が水平で棚状に見えることから、この名称で呼ばれています。

■地産地消
地域で生産された農産物を、その生産された地域内において消費することです。

■中核市
1995年度に開始された、市の事務権限を強化することが可能となる都市制度です。2015年度より「人口20万人以上」である政令指定都市以外の都市が中核市指定の要件となっています。

な行

■認定農業者
作成した農業経営改善計画(5年後の目標とその達成のための取組内容を記載)が市町村に認定された農業者を指します。認定により優先的な支援を受けることができます。

■農業振興地域整備計画
「農業振興地域の整備に関する法律」に基づいて定められるもので、農用地の利用や保全の方針をまとめた計画です。

■農商工連携
農業者と商工業者が互いの技術やノウハウを活用して、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むことを意味します。

は行

■販売農家
農林業センサスにおいて定義されている統計用語で「経営耕地面積30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家」を意味します。

■人・農地プラン
各集落・地域における将来的な農業生産の担い手と農地利用について、生産者を中心とした関係者で話し合いをしてまとめる、地域農業の計画です。最終的には市町村が決定します。

■防護柵
サルやイノシシなどの野生動物が田畑に入ってくるのを防ぐために、田畑の周りに設置される柵のことです。

■ほ場整備
ほ場とは田んぼを意味し、生産性を高めるために現在ある田んぼを広く使いやすい形に整えることです。同時に用排水や道路も整えます。

英数

■FTA(自由貿易協定)
Free Trade Agreementの略で、ある国や地域と貿易をする際に、関税や各国のルールをなくす、あるいは共通化することで自由な取引ができるようになる、2国間以上の協定を意味します。

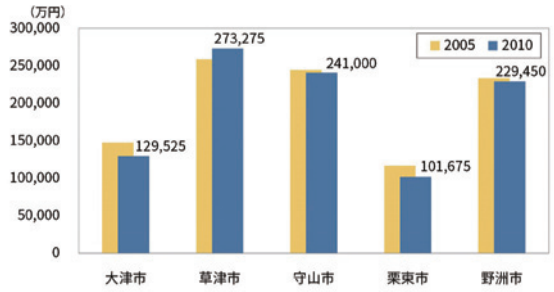
■ICT
Information and Communication Technologyの略で、「情報通信技術」と呼ばれます。農業では、人工衛星を活用したリモートセンシング技術やクラウドシステムなどを用いて、生産管理や生産記録、モニタリングなどを行うことが一部ですでに始められています。これによりさらなる省力化や高品質化を目指しています。

■IoT
Internet of Thingsの略で、「モノのインターネット」と呼ばれています。自動車や家電、ロボット、施設などのあらゆるものがインターネットに繋がり、情報をやりとりすることで新しいサービスを生み出しているものを指します。

■6次産業化
地域の第1次産業(農林漁業)がこれに関連する第2次・第3次産業(加工・販売・観光等)に取り組み、新しい地域ビジネスをつくる取り組みのことです。

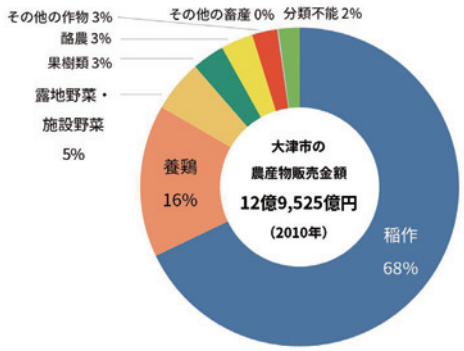
4 大津市農業の基礎データ

各市における農産物販売金額



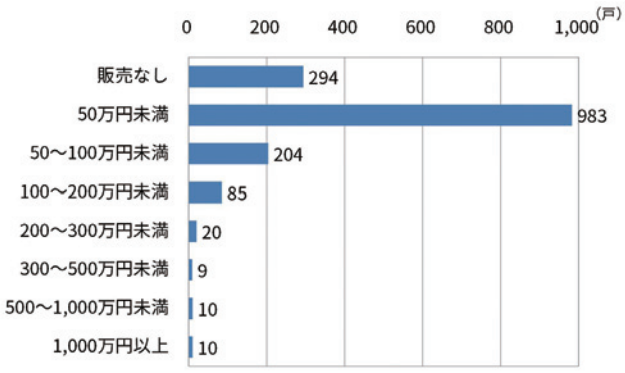
出典:農林業センサス

大津市の部門別販売金額



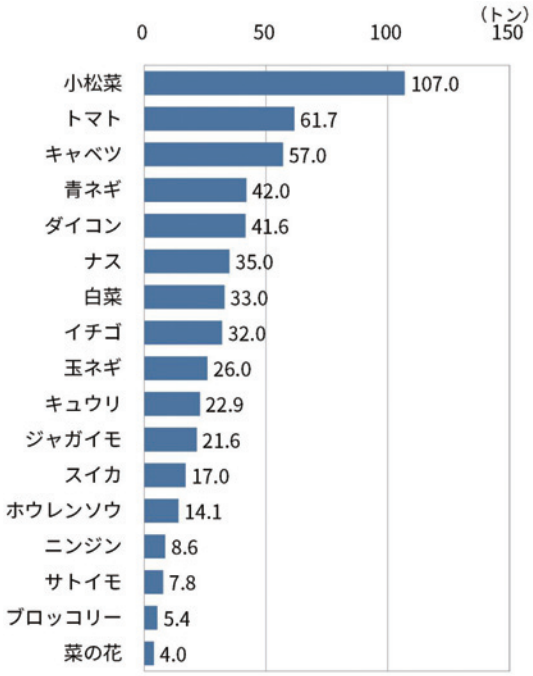
出典:2010年農林業センサス

大津市の農産物販売金額規模別経営体数



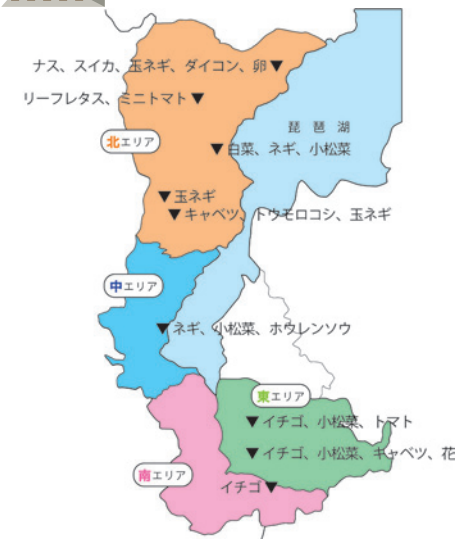
出典:2015年農林業センサス

大津市の青果物生産量(2014年)



出典:滋賀県「平成26年度青果物生産事情調査」

大津市の認定農業者等が生産する青果物

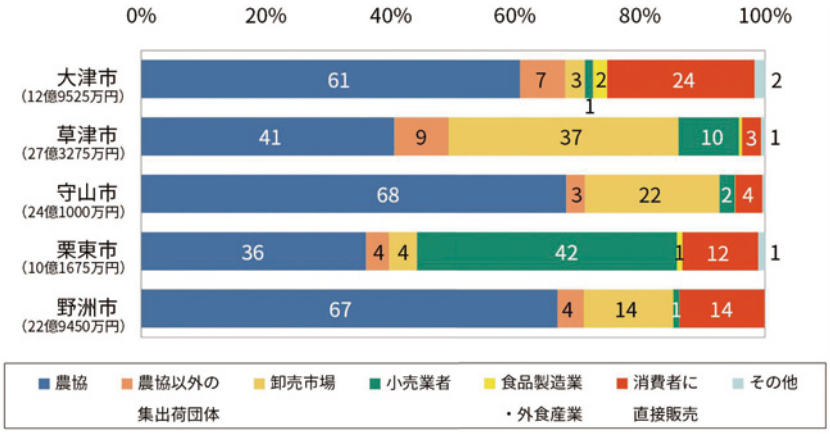


出典:大津市

【本ビジョンで使用している統計データに関する注意事項】
農林業センサスは5年おきに公開されており、本ビジョンで使用しているデータは公開されている最新の2015年のデータを用いて作成しています。ただし、入手できないデータも一部あり、その場合は2010年のデータを用いています。

各市における農産物販売先

（金額ベース）



出典：2010年農林業センサス

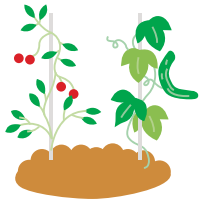
各市における認定農業者、集落営農組織

	認定農業者数（単位：名）	集落営農組織（単位：組織）［A］	うち農事組合法人（単位：組織）［B］	割合（B/A）
大津市	**27**	**23**	**8**	**34.8 %**
草津市	61	5	1	20.0 %
守山市	95	22	3	13.6 %
栗東市	12	27	3	11.1 %
野洲市	102	30	2	6.7 %

出典：大津市、農業委員会、農林水産省「集落営農実態調査」

各市における経営耕地面積

	経営耕地のある実経営体数	経営耕地総面積（ha）	うち田の面積（ha）	水稲作付面積（ha）	1経営体あたり経営耕地面積（ha/経営体）
大津市	**1,610**	**1,449**	**1,383**	**982**	**0.86**
草津市	832	1,109	1,026	745	1.23
守山市	828	1,821	1,719	1,158	2.08
栗東市	607	545	515	360	0.85
野洲市	811	2,245	2,178	1,353	2.69



出典：2015年農林業センサス

各市における環境こだわり農産物栽培面積およびエコファーマー認定者数

（2015年度）

	全体（ha）	うち水稲	うち野菜	うち果樹	うちその他	経営耕地面積に占める割合	エコファーマー認定者数（人）
大津市	**159**	**147**	**7**	**3**	**2**	**11%**	**54**
草津市	264	243	18	0	3	23%	155
守山市	237	223	10	4	0	13%	231
栗東市	112	79	31	2	0	20%	98
野洲市	997	594	9	9	394	44%	644

出典：滋賀県